

1. だれをどう喜ばせるか

複数人の顔を同時に認識させることで人数確認や点呼の際の時間短縮になる

(災害時、出席確認、複数の訪問者、コンサート会場)

2. 最初に使ってくれそうな人、飛びつきそうな人は誰ですか

避難先導員 セキュリティ関係 教員 イベント関係

3. 困りごと (問題) は何でしょうか (3つ)

○一つのカメラにつき一人ずつ

○人の手や目で確認していた

○時間がかかる

4. 従来、その問題は、どのように対処されてきましたか

人海戦術

5. あなたは、その問題を、どのように解決して見せますか

複数人の顔を同時に認識させて個人認証等を行う

6. あなたの「卒業研究」に興味を持ってもらえるための「売り文句」、簡潔で

グッとくるもの

人数や本人確認が一瞬でできます

7. 他のものと比べて、あなたの「卒業研究」は何が優れていますか

確認のために要する人数と時間の差

8. あなたの「卒業研究」が良いものであることを、何のデータを使って、どう

やって確かめますか

複数人の顔データ

9. そのための実験計画

○複数人をカメラで撮って名簿などに登録がある人だけ緑の□で、無い人は

赤の□で囲み、出席表や確認票などにチェックを入れる。

この仕組みを作り、今までのやり方と比較する

10. 使用する既存の技術の技術名（2個以上くらい）

HOG

SVM

11. まずは、既存の技術の何を使ってみるか（将来のことを書く）

Dlib ライブラリを使い複数人の顔を認識

複数人の表情を同時に認識（笑顔）

複数人の個人を認識